



和 small da-yori

弟子屈町立和琴小学校

令和8年8月28日 発行者 校長 工藤 博之

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)



■9月の行事

つながる絆

校長 工藤 博之

充実した夏休みを終え、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。この夏休み中、本校に大変嬉しい出来事がありました。以前、高学年がリモートで交流活動を行ったジャカルタ日本人学校の児童（個人情報なのでお名前はお伝えできません）が、日本への一時帰国の機会に、なんとここ和琴小学校を訪ねてくれたのです。母親の出身が根室管内とのことで、里帰りのタイミングで「行ってみたい」ということになり今回の訪問となりました。残念ながら夏休み中でしたので、児童との対面は叶いませんでしたが、校舎や教室を見学してもらいました。また、交流のあった高学年教室の黒板にメッセージを残してくれました。いつか直接会って交流ができる機会へと発展する希望をもちつつ、2学期も子どもたちの広い視野と豊かな心を育ててまいります。また、今年の試みとして、今までの3校(川小、美小、和小)の交流学習と弟子屈中校区(弟小、美小、和小、弟中)の交流も検討しています。芸術鑑賞事業、劇団四季鑑賞、合同出前授業、1日体験入学などの機会を活かして各校・各学年と交流する機会を設定していくことを検討しています。子どもたち同士の絆がつながることを願います。

8月24日の始業式では、

2学期はみんなが活躍する行事や学習がたくさんあり、自分が大きく成長できます。目標をしっかり立てて、達成し、みんなが輝く2学期になるよう先生方は応援しています。「今日は学校が楽しかったな」「勉強好きだな」「友だちと楽しく過ごせた」「明日も学校楽しみだな」って思えるような学校生活を送ってください。

以上のような内容のお話をしました。「遊ぶ」「学ぶ」「会える」「わくわく」「どきどき」する学校になるよう教職員一同取り組んで参ります。また、2学期には、神社祭、敬老会、学習発表会、地域文化体験、アイヌ文化体験教室など地域と関わりを持つ体験や文化的な体験を通して学びの場がたくさんあります。貴重な学びに主体的に関わっていけるよう学校が一体となって支援していきます。改めて2学期もよろしくお願いいたします。

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	火	避難訓練 ALT 2年生図書館見学	13:10 14:55	○
2	水	屈斜路神社祭 子ども相撲大会 全校集会	13:10 14:00	○
3	木	4時間授業	12:45	○
4	金	高学年劇団四季鑑賞 ALT	13:10 14:00 14:55	○
5	土	週休日 町P連研究大会		×
6	日	週休日		×
7	月	児童委員会 避難訓練予備日	14:00 15:15	○
8	火	二計測(男子) クラブ 低学年郵便局見学 ALT	14:00 15:15	○
9	水	集合学習 読み聞かせ	14:00	○
10	木	二計測(女子) 図書館バス	14:00 14:55	○
11	金	ふるさと遠足 ALT 草の根教育実習(～15日) 定時退勤日	14:00	弁当
12	土	土曜授業 自治会敬老会	11:35	×
13	日	週休日		×
14	月	二計測(欠席者)	14:00 14:55	○
15	火	高校生インターンシップ ALT ふるさと遠足予備日	14:00	弁当
16	水	体力向上月間(～10/16) 強化種目測定①	14:00	○
17	木	強化種目測定② 全校集会(後期児童会役員選挙) 弟子屈町イングリッシュウィーク	14:00 14:55	○
18	金	強化種目測定③ クラブ ALT	14:00 15:15	○
19	土	週休日		×
20	日	週休日		×
21	月	敬老の日		×
22	火	国民の休日		×
23	水	秋分の日		×
24	木	弟子屈町児童生徒芸術鑑賞 学習発表会実行委員会 図書館バス	14:00 15:15	○
25	金	4時間授業 秋の校外清掃 ALT 定時退勤日	12:45	○
26	土	週休日		×
27	日	週休日		×
28	月	スクリーニング検査 ALT	14:00 14:55	○
29	火	視力検査(4～6年) スクリーニング検査予備日	14:00 14:55	○
30	水	視力検査(1～3年) 通知表発行	14:00	○

■ご協力ありがとうございました ～1学期末保護者アンケート結果～

1学期末にお願いした「学校評価アンケート」の結果がまとまりましたのでお知らせします。(A 4点 B 3点 C 2点 D 1点)

学校評価アンケート三者比較

			今回	前回比
1	授業改善	教職員 学校は、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っている。	3.40	0.00
		保護者 学校は、お子さんに応じた多様な授業や、他の子と学び合うような授業を行っている。	3.67	-0.13
		児童 授業で友だちと話し合う学習で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	3.31	-0.11
2	授業改善	教職員 学校は、子どもが学習活動を振り返り、自らの学びの変容を自覚し、次につなげることができる教育活動を行っている。	3.40	0.00
		保護者 学校は、お子さんの学力向上のために、やる気を育てる授業、分かるようになる授業、できるようになる授業を行っている。	3.67	-0.03
		児童 授業では、課題を立て、まとめたり、ふり返ったりする学習をしている。	3.62	-0.22
3	授業改善	教職員 学校は、自己存在感の感受を推進する授業づくりを行っている。	3.20	-0.20
		保護者 学校はお子さんの自己肯定感や自己有用感を育むような教育を行っている。	3.50	-0.20
		児童 自分には、よいところがある。	3.69	0.28
4	授業改善	教職員 学校は、共感的な人間関係を育成する授業づくりを行っている。	3.20	-0.60
		保護者 学校は、お子さんが失敗をおそれないで、安心して間違えることができるような学習集団づくりを行っている。	3.50	-0.20
		児童 みんなの前で安心して、発表したり意見を言ったりできる。	3.23	-0.44
5	授業改善	教職員 学校は、自己決定の場を提供する授業づくりを行っている。	3.40	0.00
		保護者 学校は、お子さんが自ら考え、選択し、決定する力が育つような教育を行っている。	3.50	-0.40
		児童 友達の考えを参考に、自分のことは自分で決めることができる。	3.31	-0.36
6	道徳教育	教職員 学校は、子どもの互いに認め合う気持ちと支え合う心を育てている。	3.60	0.20
		保護者 学校は、子どもの互いに認め合う気持ちと支え合う心が育つような道徳教育を行っている。	3.50	-0.40
		児童 自分の考えや、やり方と違っても、その友だちのよさを認めたり、おし合いをつけていっしょに活動したりすることができる。	3.46	-0.37
7	体力向上	教職員 学校は、子ども個々に合わせた運動課題を設定し、その課題に応じた体力作りを行っている。	3.60	0.00
		保護者 学校は、お子さんの発達段階を考慮しながら、お子さんが運動を好きになったり、体力を向上させたりすることにつながる教育を行っている。	3.67	-0.03
		児童 自分の苦手な運動に進んで取り組んでいる。	3.55	0.21
8	ふるさと教育	教職員 学校は、ふるさとのよさを知り、自己の生き方を考える教育の充実を図っている。	3.80	0.00
		保護者 学校は、家庭・地域と協力しながら、ふるさとの自然・人・産業に関わる総合的・体験的な教育を行っている。	4.00	0.20
		児童 授業などで地域のことを調べたり、地域の人に会ったり、話を聞いたりすることは、楽しみである。	3.77	0.02
9	G I G A	教職員 学校は、公正に個別最適化され、子どもの資質・能力を一層確実に育成するICTを活用し個に応じた教育の推進を図っている。	3.20	-0.20
		保護者 学校は、公正に個別最適化され、お子さんのよさや個性を一層確実に育むため、ICT（タブレットなどの情報通信技術）を活用し個に応じた教育を行っている。	3.83	0.13
		児童 目的に応じて様々なソフトを活用し、調べ学習や意見の発表、交流ができる。	3.46	-0.37
10	いじめ	教職員 学校は、いじめ・不登校問題に対し、未然防止、早期解決に向けた組織的な取組を行っている。	3.60	-0.20
		保護者 学校は、「いじめは絶対に許されない」という考え方で、いじめが起こりにくい環境づくりを行い、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けた取組を行っている。	3.67	-0.13
		児童 いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	4.00	0.00
11	家庭・地域連携	教職員 学校は、学校・地域・家庭が目的意識を共有し、それぞれの役割を果たしながら一体となって行う教育の充実を図っている。	3.20	-0.40
		保護者 学校は、家庭への情報発信や家庭との連携を十分行っている。	3.67	-0.03
		児童		
12	へき地教育	教職員 学校は、へき地・小規模・複式の三特性を生かし、子ども一人一人の能力や個性を伸長する教育の充実を図っている。	3.60	-0.20
		保護者 学校は、お子さんのよさや個性を生かし、子ども同士がお互いを尊重し合う教育を行っている。	3.50	-0.20
		児童		

自由記述欄（一部掲載）

・子ども自身に考えさせ、納得のいく決定ができるよう関わってくれていると思います。いつもありがとうございます。

【学校から】

今回も温かいお言葉をいただきました。ありがとうございました。特に、「体力向上」「ふるさと教育」「いじめ対応」についてご理解いただいていると感じております。2学期は、次の点を中心に取り組み、教育活動のさらなる充実を図っていきます。

①項目3・4・5・6 生徒指導の三機能を生かした授業づくり

学習指導や道徳教育と生徒指導の関連を意識し、「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」の観点から、授業を振り返り、意図的に仕掛けていくことで、子どもたちの発達を支えていきます。

②読書活動

三者比較にはありませんが、児童アンケートでは、「本を読むのが好きである」の項目で平均値が2.77と最も低かったです。読書活動は、言語能力の向上や表現力・創造力の育成、非認知能力の向上等、様々な効果があります。そのため、ご家庭のご理解とご協力を得ながら、読書の機会を増やすことや、時間を確保する等、子どもたちの様々な力を育むために取り組みます。

また、保護者の皆様におかれましては、家庭と学校で共通認識のもと支援をし、子どもたちの教育を充実させるためにも、些細な気づきや疑問点等がありましたら、即時に学校へお知らせください。学校からも連絡帳や電話、対面でのやり取りを大切にしていきます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※夏休みや8月の様子については、学校ホームページをご覧ください。